

31H 飯室 朱織      32H 山辺 泰世      33H 二津 心咲  
 34H 定免 春樹      36H 岩本 緩音

■課題

石川県は自家用乗用車の100世帯当たり保有台数が多く、高齢者の免許返納率も都市部に比べて低い。

■解決策

- ・乗合バスの導入によって二酸化炭素の排出量の多い自家用乗用車の利用を抑え、二酸化炭素の削減に貢献する。
- ・乗合バスをドアツードア方式にすることによって高齢者の免許返納を促す。

■現状（課題の背景）

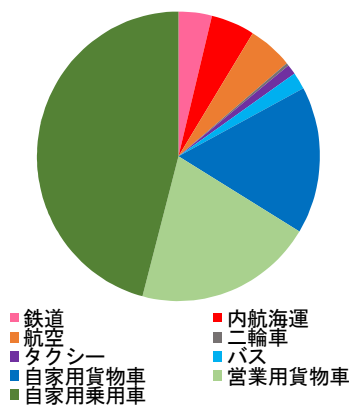
〈自家用乗用車の数が多い〉

二酸化炭素排出の運輸部門において自家用乗用車の占める割合が大きい。

石川県は自家用乗用車の100世帯当たりの保有台数が多い。

表1 都道府県別自家用乗用車  
100世帯当たり保有台数(1)

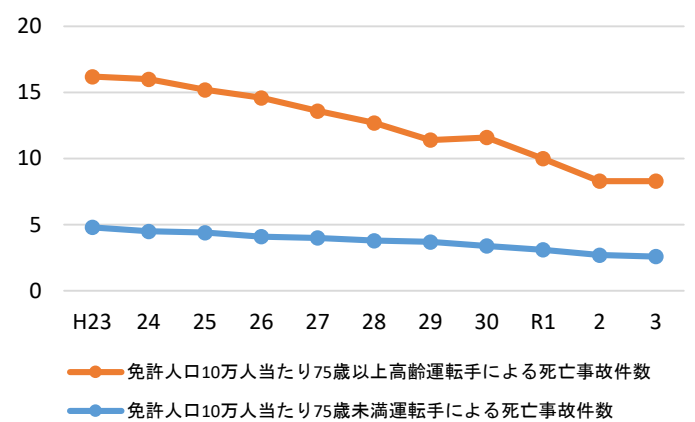
	県	台数
1	福井県	172.7
2	富山県	167.0
:	:	:
13	石川県	148.1
:	:	:
46	大阪	63.7
47	東京	42.4



〈高齢者の免許返納率が低い〉

石川県の免許返納率は4.73%で、全国平均の5.18%を下回っている。

75歳以上の高齢運転手の死亡事故件数が多い。



■具体的内容

自宅から使えるバス

- ・運行ダイヤは予め決められているが、予約があった場合にのみ運行する。
- ・運行ルートやバス停は設けず、指定エリア内で予約のあった区間を巡回するドアツードアのサービスを提供する運行方式。
- ・発地は利用者の自宅や特定の施設、着地は病院など特定の施設またはエリア  
(ex: 地元の病院・郵便局・スーパー・駅など)

■効果

1. 二酸化炭素排出量を削減できる。  
→二酸化炭素の削減・SDGs「11番 住み続けられるまちづくりを」「13番 気候変動に具体的な対策を」に貢献できる。
2. 免許をすでに返納した高齢者が自家用乗用車のように家から目的地までの移動手段として利用できる。  
→高齢者の免許返納を後押し→高齢運転による死亡率減少  
〈成功例〉  
人口2843人の青森県佐井村では平成19年度で2785人が利用しており、生活移動手段の確保に寄与している。

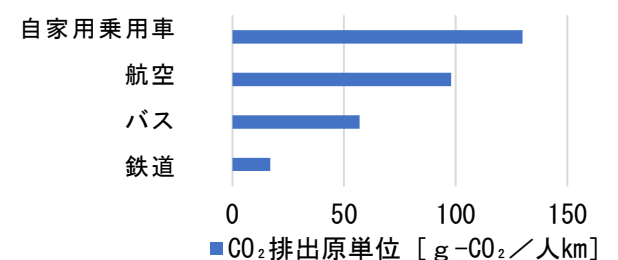
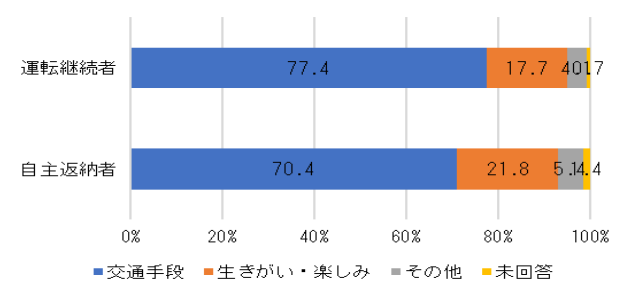


図3 輸送量当たりの二酸化炭素の排出量(2)



■参考文献

- ・ [https://www.jama.or.jp/industry/four\\_wheeled/four\\_wheeled\\_3g3.html](https://www.jama.or.jp/industry/four_wheeled/four_wheeled_3g3.html) (1)
- ・ [https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei\\_environment\\_tk\\_000007.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html) (2)
- ・ <https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/bunseki/nenkan/040303R03nenkan.pdf> (3)
- ・ <https://www.npa.go.jp/koutsuu/kikaku/koureijunten/kaigi/3/siryoh/shiryo4.pdf> (4)